

第39回 通常総会



県解体工事業協組が総会

新設条項で「青年部」設置

「人格陶冶の場」に期待

千葉県解体工事業協同組合(市原照公理事長、正組員49社)の第39回通常総会が29日、千葉市内のオークラ千葉ホテルで開かれ、2024年度事業計画などを全会一致で可決。任期満了に伴う役員改選では、市原理事長を再選した。



市原理事長

変更及び条文追加において「青年部」の新設を承認。新設理由としては、青年部の組織を通じて「人を知り」「経営を知り」「組織を知り」が、個々の企業経営で学ぶことができない「人格陶冶の場」になるとし、中小企業の経営者や管理者を養成する機関として設置するもの。

組合員全員での運営に方針転換

議案審議終了後、市原理事長は「2年前の理事長就

り組みである」と強調。組合員には「是非とも委員会に参加して、忌憚のない意見を頂戴するなどの協力を賜りたい」と呼びかけた。

分離発注の実現と元請受注の向上を

解体業の情勢については「空き家対策や公共施設の建て替えなどの面からも、社会インフラのために必要な業種として目ざされている」と指摘。

一方、AIによる「解体工事費試算サービス」を提供する会社と一部の行政機関との連携が報道されるなど、昨今の社会情勢からは「受注環境の厳しさや、価格競争への対応が求められる」との認識を示した市原理事長は、今後は「解体工事業を社会に定着させ、組合が熟達した高い技能を有する解体工事業の専門集団

議長は「2年前の理事長就

の組合運営ではなく、組合員全員で運営していく取

場づくりの実施

【新役員】

- 理事長＝市原照公(大同産業(株)代表取締役社長)
- 副理事長＝梶原廣義(株)三勢代表取締役会長)
- 理事＝佐藤央健(株)工業取締役)
- ▽池澤祥三(株)小見解体代表取締役社長)
- ▽安藝真一(株)ハマダ代表取締役社長)
- ▽水間純(水間建設工業代表取締役社長)
- ▽山田優一(山田建設代表取締役社長)
- ▽米山清(株)米山興業代表取締役社長)
- ▽池田太一(株)イケダ代表取締役社長)
- ▽内木角栄(株)ナイキ代表取締役社長、新任)
- ▽秋野良夫(員外、千葉県解体工事業協同組合事務局長、新任)
- 監事＝櫻井聖也(聖和興業(株)代表取締役社長、新任)

としての認知度を高めるためにも、分離発注の実現と元請受注の向上を目指して、行政機関への働きかけを積極的に行っていきたい」との方針を示し、理事長留任のあいさつとした。【第40期事業計画】会員の加入促進/解体工事における適正処理と適正価格の明確化と周知/建設リサイクル法施行にあたっての研究と運用指導の研究/解体工事の技術の研究及び建設副産物の適正処理に関する研究/アスベスト除去等に伴う施工手順及び安全管理研究/解体工事施工者全員の資格取得/解体工事における必須条件とする運動/解体工事に伴う各種資格取得講習会及び研修会/大規模災害発生における行政への支援体制構築/災害時における防災協定に基づく訓練の実施/行政との意見交換